



260206-30

↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号				氏名	

※の欄には何も書かないこと。

1	(1)		(2)	$\frac{19}{9}$	(3)	あ $\frac{9}{35}$	※
	(3)				(4)		
	い	$x=4, 9$					
		$\frac{24}{35}$		あ (10 , 13)	い (17 , 4)		
			(1)		(2)		
	あ	π	い	2π	(2)	$\frac{7}{10}$	※
					(3)		
2		$\triangle OAP, \triangle OBR, \triangle OCR, \triangle ODS$ はそれぞれ合同な三角形 であるから、4点 A, B, C, D は点 O を中心とする同一円周上にある。 $\triangle EAB$ と $\triangle EDC$ について、円周角の定理より、$\angle EAB = \angle EDC \dots \textcircled{1}$ 対頂角の大きさが等しいので $\angle AEB = \angle DEC \dots \textcircled{2}$ である。 ①、②より「角相等なため」 $\triangle EAB$ の $\triangle EDC$。 従って対応する辺の長さの比がそれぞれ等しいので” $EA:EB = ED:EC$ ゆえに、$\frac{EA}{EB} = \frac{ED}{EC}$ である。					
	(1)		(2)			※	
		$y = (\sqrt{3}-1)x + \sqrt{3}$		$\sqrt{3}$			
	(3)		(4)				
	$\frac{3+2\sqrt{3}}{4}$		$\frac{1}{4}$				
3	(1)		(2)		(2)		※
		$\frac{\sqrt{6}}{2}$	あ	$\frac{\sqrt{5}}{2}$			
	(2)		(3)				
4	い	$\frac{8\sqrt{5}}{25}$		$\frac{4}{25}$			

※